

食育事業取組報告書(教育支援センター車野校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる ・ 作る ・ 食べる ・ 返す	実施年月日	令和5年 4月21日(金)～10月12日(木)
教科名	生活(自立活動)	指導者	○教育支援センター車野校指導員 ○板山地区食農班の皆さま ○JA北越後女性部の皆さん ○市農業サポートセンター職員
単元名	農業体験から、食育を考えよう		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元農家での農業体験や、車野校畑での野菜栽培、調理実習を通して児童生徒の「食」への関心を高める。 ・ 農業従事者及び関係の方々との触れ合いを通して、農業の大切さを知り、他者との交流の機会にする。 ・ 育てた野菜を使って調理実習をすることを通して、収穫の喜びや調理する楽しさを実感し、「食」に関する興味を高める。 		
児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料	
<p><農業体験></p> <p>1 ジャガイモ収穫体験 <7月20日(木)></p> <p>2 玉ねぎ収穫体験<6月22日(木)></p> <p>3 さつまいも収穫体験<10月12日(木)></p> <p>4 牛舎見学体験<11月16日(木)></p> <p><食を作る体験></p> <p>1 調理実習<9月28日(木)></p>	<p>○苗の植え付け(4月21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板山食農班の方々にご指導いただき、30cm間隔で植える。 ※開校セレモニーの一部として実施し、二階堂市長も参加した。 <p>○草取り(5月11日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗を傷つけないように、根を残さないように草を取る。 <p>○草取りと肥料やり(5月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗を傷つけないように、根を残さないように草を取る。 ・ジャガイモの茎に直接かからないように肥料をまく。 <p>○収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イモを傷つけないように周りの土から掘って収穫する。 ・残さないようにすべて収穫し、日に当てない所で保存する。 <p>○玉ねぎの栽培についての話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～5月、植える2週間以上前に堆肥と元肥を施して畝を作る。 ・茎の白い部分が出るように10～15cmくらいの間隔で苗を植える。 ・追肥やこまめな草取りを行う。 <p>○収穫体験をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫適期である茎が倒れた状態を確認し、引き抜いて収穫する。 ・収穫後は、一定の期間乾燥させる。 <p>○さつまいもの栽培についての話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料を施し、畝をつくり、苗を斜めに植える。 ・水は、あまり多くやりすぎない。 <p>○収穫体験をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畝の外側、地中の生え方に気を付けて、手で土を掘り収穫する。 <p>○牛舎の見学を実際に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅谷の中野牧場で、乳牛の管理について実際に見る。 ・衛生面に注意し、乳牛を刺激しないよう見学するなどの指示を守らせる。 <p>○酪農についての知識を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳牛の体のしくみ、育て方、牛乳が届くまでの生産工程等を聞く。 ※紙芝居や拡大図録等を使って、分かりやすく説明してくれた。 ※乳牛への愛情の注ぎ方や「いのち」の話をきくことができた。 <p>○活動後、感謝の気持ちをお礼の手紙にして届ける。</p> <p>○収穫したジャガイモを使ってカレーライスを調理する。</p>	  	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 板山食農班、JA北越後女性部、新発田市農業サポートセンターの方々のご協力により、植物の育ち方や乳牛の様子等を知ると共に、収穫の喜びを味わえた。 ○ 実際に育てた野菜を調理し、工夫して献立を考えることを通して、生きる力の育成と共に、自身の食生活を見直すよい機会となった。 ○ 子どもたちの特性を踏まえて、更に自主性や協力を育む食育体験ができるよう創意工夫を進めていきたい。 		
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旧車野小施設校舎において、板山地区食農班の皆さんにお世話になり、畑作りからジャガイモ栽培・収穫まで本格的な農作業を体験することができた。 ○ さつまいも収穫、玉ねぎ収穫、牛舎体験と年3回さまざまな体験をすることができた。来年度以降も食に関わる豊かな体験が実現できるよう、関係機関との連携を深めていきたい。 		